

No.	意見	回答
1	千歳は空港のあるまちとして多くの方に立ち寄っていただいておりますが、今後は“通過点から目的地へ”とつながるような体験や魅力がさらに広がっていくと嬉しく思います。支笏湖の魅力は大きい一方で、市街地や駅前、農村部などにも素敵な資源があると感じており、「支笏湖+もう1か所」を楽しめるような仕組みができると、観光の回遊性や地域での消費も広がっていくのではないのでしょうか。	市内周遊の取組みについては、P.23「主要施策1-1」及びP.25「主要施策2-2」において、ルートの設定や観光案内機能の強化について記載しました。
2	外国からのお客様にも安心して楽しんでいただけるよう、移動や食事、言語の面での環境整備が進むことを期待しています。	外国人観光客の満足度向上や利便性向上については、P.25「主要施策2-1」において、二次交通の充実、多言語対応、食文化対応について記載しました。
3	市内に宿泊されるビジネスの方がすき間時間で立ち寄れるような観光のご案内があると、千歳の魅力がより一層伝わるように感じました。	ビジネス客の取込みは今後の課題であることから、P.24「主要施策1-3」及びP.27「主要施策3-1」において、ビジネス客向けの取組みを記載しました。
4	現行プランの施策展開に対し、素案では、〇〇を図ってきた。〇〇した。とあるが評価検証が必要なのではないか。	それぞれの施策は総合的に機能しているため、P.4「第2章の2の（2）」に個別の施策を記載し、P.7「第2章の3」においてその取組みによる観光入込客数等の変化（評価）を記載しています。
5	素案の4P2行目「市街地地区においてはコロナ禍からまだ回復しておらず」とあるが「コロナ禍前の数字にはまだ回復しておらず」に表現を修正したほうが良い。	P.4の2行目について、「市街地地区においてはコロナ禍前の数字にはまだ回復しておらず」に表現を修正しました。
6	第5について、観光ビジョンの次に解決の方向性、方針が記載されているが、「①地域資源を生かした観光振興」、「②受入環境整備」、「③誘致宣伝活動の推進」とあるがこれらはどちらかと基本施策であり千歳市としての観光の目指す方向性、将来像が見えてこない。ビジョンの次に、基本方針などの方向性や目標が記載されたほうがよりわかりやすい。	P.22「第5章」について、記載や表現方法をわかりやすくなるよう修正しました。

No.	意見	回答
7	解決の方向性として具体的な取組が記載されているが、並列で列挙されており優先順位を定めたほうがいいのではないか。	今回策定する観光振興プランは、基本方針とその具体例を掲載したものとなっており、具体例の優先順位は定めていません。今後はプランに基づき、その時々課題を踏まえながら、毎年の予算の中で事業実施していきます。
8	今回の振興プランは、アクションプランまで踏み込んで策定するのか。その場合、記載されている取組はいつ、誰がどのように実行するのかの記載が必要なのではないか。	今回策定する観光振興プランでは、アクションプランの策定は想定していませんが、市民、事業者等、観光連盟や行政の役割について、P.30「第5章の5」に記載しました。
9	全体的に、ビジョン、基本方針（目標）、施策、成果指標などが体系的に記載され、連動した方が分かり易いとする。	全体の記載や表現方法について、わかりやすくなるよう修正しました。
10	KPIについて、消費単価増加や滞在時間の促進による消費拡大、旅行者、地域双方が観光のメリットを享受できる持続可能な観光地を目指すのであれば、「観光総消費額」「平均泊数」「住民満足度」「平準化率」などの指標も加えた方が良くないか。	KPIについては、全ての基本数値となりうる「観光入込客数」「宿泊客延べ数」「観光消費単価」としました。「住民満足度」など現在未調査のものについては、今後調査を行い、次回プラン策定の際にKPIとすべきか検討します。

No.	意見	回答
11	<p>今後の千歳市の観光振興プランでは、①地域資源を生かした観光振興 ②受入環境整備 ③誘致宣伝活動の推進の3点に関して継続的な取り組みを行うとしている。これらのプランは地域の観光関連事業者を中心とした取り組みで更なる向上が期待できるが、下記の3点は行政や教育機関との連携が必要で、早期にその環境を実現するためのプランが必要である。</p> <p>① WiFiカバー率の向上: 観光に関わる情報入手や発信にはWiFiが重要であることは認識されているが、そのカバー率はいまだに低い。例えば史跡キウス周堤墓群地域はQRコード等を利用した情報発信が難しい。位置情報や移動に必要な交通関連情報も全てWiFiが必要となる。FiWiカバー率の向上は観光戦略の要である。</p> <p>② 2次交通の整備: 2次交通の整備が不十分であるため、観光スポットの移動に時間がかかる。例えば史跡キウス周堤墓群ガイドセンターと千歳市埋蔵文化財センターは2次交通が整備されていれば半日で見学できる。</p> <p>③ インバウンド対応の人材育成: 令和5年に開催されたATWSからアドベンチャーツーリズムには大きな可能性があることが判明している。語学を含めた高度な人材育成がこの分野の成功のカギとなる。そのためには観光関連事業者だけでなく高校や大学等の教育機関と連携し、インターン制度も利用した単位取得型人材育成プログラムを構築して積極的に必要となる人材を輩出する仕組みを作るべきである。</p>	<p>①WiFiについては、主要観光地点である支笏湖畔と交通拠点のひとつであるJR千歳駅からグリーンベルトまでの範囲に整備しています。今後の整備については、P.25「主要施策2-1」において、公衆Wi-Fiの拡充を記載しました。</p> <p>②2次交通の整備については、P.25「主要施策2-1」において、観光スポットのアクセス性の向上や周遊性を高める取組みについて記載しました。</p> <p>③P.26「主要施策2-3」において、今後増加する海外観光客に対応できる人材育成に向けた教育機関との連携について記載しました。</p>

No.	意見	回答
12	<p>sns発信はとても有効だと感じます。</p> <p>千歳市内のグルメスポットや観光スポットなどを実体験を通してお知らせするスタイルなど。</p> <p>地元ローカル情報の日本人向けの日本語での発信は多くあると思うのですが、英語や中国語などのインバウンドへの発信はまだまだ少ないのではないかな感じがします。</p> <p>千歳市がどのような街で沢山の魅力があることを、多くの海外の方により注目されたり目にされたりするような効率的に発信方法を取り入れていくのが良いと思います。</p>	<p>P.27「主要施策3-1」において、海外観光客など対象者別の発信など効率的に実施を行えるよう多様なプロモーションの展開について記載し、「主要施策3-2」において、SNSを活用した情報発信について記載しました。</p>
13	<p>現在の素案内には直接は関係ないかもしれませんが、私自身の新しい民泊でのイベントを考えています。現在手掛けている民泊は一階をカフェ2階を宿泊へやにする予定です。各国からの宿泊者さんと海外に興味のある地元の子供たちをはじめ交流を持ちたいとのぞむ地域住人さんを対象にお互いの国の代表料理を作りあい食べながら交流するなどの交流会を実施したいと考えています。</p> <p>このようなイベントを通して海外の方と地域住人との交流の場を作り、交友を深めたり、海外の方にも千歳市について知ってもらったり、特別な体験をしてもらえることはとても有意義なことではないかと考えています。</p>	<p>P.24「主要施策1-4」において、市民参加型イベントを通じて観光への理解と地域愛着を深める取組みについて、記載しました。</p> <p>また、P.30に市民の役割として、来訪者への温かい対応を実践する必要性について記載しました。</p>
14	<p>将来に向けて、リピーター客として期待できる教育旅行生を受入れるため、千歳市内及び近隣市町村のグリーンツーリズム事業者やアウトドア事業者、さらには、工場等見学可能な企業や宿泊事業者との調整を行う教育旅行受入体制整備</p>	<p>P.23「主要施策1-1」において、教育旅行の取組みについて記載しました。</p>
15	<p>②-④海外観光客に向けた対応として、海外観光客とのコミュニケーションを円滑にするため、翻訳アプリ活用の促進を追加</p>	<p>P.25「主要施策2-1」において、多言語対応の取組みのひとつとして記載しました。</p>
16	<p>③-⑥市民との連携推進として、海外観光客とのコミュニケーションを円滑にするため、翻訳アプリ活用の促進を追加</p>	<p>P.25「主要施策2-1」において、多言語対応の取組みのひとつとして記載しました。</p>

No.	意見	回答
17	<p>新プランは、前回プランの総括及び観光客調査結果から見える検討課題を基に策定する方針であると考えますが、総括において、実施された施策は列記されているものの、どの施策の効果が高かったのか、効果が低かった施策は無かったのか、効果が無かったのはどこが悪かったのかなどが全く分からない。総括は、これまで実施した事業の内容や成果を評価、反省することと考える。</p> <p>各施策の評価を含めて検証を行うべきではないか。</p>	<p>それぞれの施策は総合的に機能しているため、P.4「第2章の2の(2)」に個別の施策を記載し、P.7「第2章の3」においてその取組みによる観光入込客数等の変化(評価)を記載しています。</p>
18	<p>第4 千歳市の観光課題</p> <p>(3)ビジネス客の取込</p> <p>「市街地の観光入込客数は増加していません」と記述されているが疑問。千歳市観光客調査結果報告書の2 来訪目的【傾向】・観光・レクリエーションが主目的、ビジネス利用は少ない。との記載と矛盾している。</p> <p>また、観光連盟の会議において、千歳は近郊の苫小牧や札幌と比べビジネスよりも観光需要が高い街であることをデータとともに説明を受けたことがあり、そのこととも矛盾している。</p>	<p>P.7の表「観光入込客数の推移」の地区別の市街地の令和6年度を見ると、前年度から減少しており、令和2年度よりも減少しています。観光客調査結果報告書のP.3「2 来訪目的」では、アンケート時の母集団において「出張・業務旅行」と答えた方が8%であり、観光をしているビジネス客が少ないことを示しています。</p> <p>また、千歳市の令和6年度の宿泊客延べ数は38万人泊となっていますが、観光目的ではない宿泊客(いわゆるビジネス客)を含めると、120万人泊を超えており、ビジネス客の取り込みが必要と考えます。</p>
19	<p>第5 千歳市における観光の目指すべき姿と解決の方向性</p> <p>具体的な取組例が列記されているが、誰が担うのか明記する必要があるのではないか。</p> <p>早期に実施可能なもの、時間がかかるものなどの区分も必要ではないか。</p>	<p>今回策定する観光振興プランは方向性を示すものであり、具体的な取組みを例として記載はしていますが、実施主体については、重複することから、取組例ごとに記載はせずに、P.30「第5章の5」に市民や事業者などの役割を記載しています。また、記載した取組は具体例であることから、優先順位などは定めていません。</p>

No.	意見	回答
20	<p>2 解決の方向性</p> <p>(1)地域資源を生かした観光振興</p> <p>②観光資源の高付加価値化</p> <p>チップのブランド化は必要と考えるが、需要増に対し供給量を増やしていくことは可能なのか疑問。</p>	<p>支笏湖チップは、毎年の漁獲量に変動があり、安定的な供給に課題があることは承知していますが、現在、支笏湖チップの認知度向上や価値を高めるためにブランド化に取り組むとともに、安定供給に向け資源の調査やふ化事業を進めています。</p>
21	<p>④新規観光資源の発掘</p> <p>新たな地元グルメの開発は、誰が行うことを想定しているのか。</p>	<p>新たな地元グルメの開発においては、主に民間事業者が担うものと想定していますが、必要に応じて行政や関係団体なども様々な形で参画・連携するケースもあると考えています。</p>
22	<p>(2) 受入環境の整備</p> <p>①2次交通の整備</p> <p>新千歳空港の旅客数は国際線の復便や新規就航により急増が予想される。これに加え本プランの今後の施策の方針に「③誘致宣伝活動の推進」を掲げているが、これら取り組みにより増加していく新千歳空港に到着する方々をどのように市内に導くことを考えているのか。一番輸送能力の高いJR線は既に飽和状態にあるのではないのか。</p> <p>2次交通の確立には時間も費用も要することから、早期に優先して取り組むことが必要でないか。</p> <p>AIオンデマンド交通は市が実施主体となる考えであるのか。</p> <p>回送車両の活用とあるが、そもそも次の路線に向かう為に回送しているのではないのか。活用可能な車両が存在するのか疑問。</p> <p>冬季交通環境の整備とは何を指すのか。</p> <p>空港、航空会社、宿泊事業者との連携とあるが、連携して何を行うのが不明。</p>	<p>2次交通の整備は、これまでの調査からも課題とされており、財源を確保した中で着実に進めていく必要があります。</p> <p>実施内容等については、市の交通政策課や交通事業者などとともに有用な方法を検討していきます。</p> <p>冬季交通環境については、一例ではありますが、北海道外又は海外からの観光客はレンタカーの割合が多くなっている一方、冬場は利用が減少するため、レンタカーに代わる交通環境として、AIオンデマンド交通やライドシェアなど様々な方法が考えられます。</p> <p>こちらも一例ではありますが、それぞれの連携内容については、オンデマンド交通実施の際は駐車場所や乗降場所などの調整、利用者への案内などが考えられます。</p>

No.	意見	回答
23	<p>②案内機能の整備</p> <p>多言語対応した案内看板の整備とあるが、既に市内には多くの案内看板が設置されている。</p> <p>これまでそれぞれの担当が独自に看板を設置したため、全く連携が取れていない状況にある。</p> <p>設置後、適切に管理されてこなかったことから、内容が更新されていなかったり、表示が薄くなり何が書かれているのかわからない状況も散見される。</p> <p>新たな看板設置は否定しないが、既存看板との整合性を含め計画的に進めることが必要でないか。</p>	<p>千歳市では、平成27年より千歳市公共サインガイドライン（令和3年（2021年）4月改訂）に基づいて、サイン設置等を実施しており、今後につきましても、本ガイドラインを基に「誰にでもわかりやすく」、「良好な景観の形成を図る」ことのできる公共サインの整備に努めていきます。</p>
24	<p>③滞在環境の整備</p> <p>キャッシュレス化の推進</p> <p>商業労働課とも協力しキャッシュレス化の推進に取り組んでいるが、大きな成果は得られていない。推進には補助制度の創設など、強力な推進施策が必要と考える。</p>	<p>海外観光客だけではなく、国内においてもキャッシュレスの動きは強くなっている中で、キャッシュレス化の推進は必要と考えます。</p> <p>補助制度の創設については、一定程度財源が必要なことから、今後、財源確保のあり方や参考事例などを踏まえ調査していきます。</p>
25	<p>p.5 アドベンチャートラベルの説明にATTA提唱の5つの体験価値まで記載した方がいいと思います。地域の資源を活かすアドベンチャーツーリズム①（Adventure Travel World Summit 2019の報告） 地域の皆様へのお知らせ JNTO（日本政府観光局）</p> <p>（理由）3つの要素では誤解が多いですし、後に続くエコツーリズムやグリーンツーリズムにうまく接続しないと思います。自然、アクティビティが含まれれば、ゴミをたくさん出すものでもよいというイメージは誰も持っていないと思います。</p>	<p>P5「第2章2（2）②」の3行目に「旅行者自身が多様な価値観に触れ、内面に変化がもたらされるような旅行形態で」を記載しました。</p>

No.	意見	回答
26	<p>P.9 以下、下線部の追記を希望します。</p> <p>『「明日の日本を支える観光ビジョン」では、国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化を目的とした「満喫プロジェクト」などを柱に、令和2年（2020年）に訪日外国人4,000万人』（理由）支笏湖（国立公園）のブランド化や上質化まで観光ビジョンに含まれていますし、千歳市様も本プロジェクトに関する会議には当初よりご参加いただいています。</p>	<p>P.9「第3章1（1）」の4行目に「国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化を目的とした「満喫プロジェクト」などを柱に」を記載しました。</p>
27	<p>p.23 “2 解決の方向性”のいずれかの個所にオーバーユース対策あるいは混雑緩和対策などの文言、視点を追加した方がよいと思います。</p> <p>（理由）他の委員からも指摘があり、当方もそのような認識を持っていますが、利用する方の視点が多く、利用過多への対策などコントロールの視点が欠けているように見受けられました。広義には(1)①の観光資源の持続可能な運用に含まれるのかもしれませんが、狭義には(2)③滞在環境の整備含まれる気がしますが、入っていません。いずれにしても書ける範囲の表現で明文化した方がよいと思います。</p>	<p>P.24「主要施策1-5」にオーバーツーリズム対策について記載しました。</p>
28	<p>p.23 “2 解決の方向性”において、主語は『千歳市では』になると思いますが、可能な限り具体度は上げた方がよいと思います。</p> <p>（理由）具体的な取り組み例もかなり抽象的で、他の委員も含め市が具体的に何をやっていくのかよくわからないように感じたため。もちろんあくまでプランであり、具体的に書きすぎることはできないと思います。</p>	<p>今回策定する観光振興プランは方向性を示すものであり、具体的な取り組みを例として記載はしていますが、実施主体については、重複することが多いことから、取組例ごとに記載はせずに、第5章の5に役割を記載しています。また、記載した取組は例であることから、優先順位は定めていません。</p>

No.	意見	回答
29	<p>全体的に整理していただいたので、課題についての解像度が上がりました。全体を見たときに、これまでは文化的な要素が少なかったと気づきました。街づくりとも関連するかもしれませんが、文化的な要素がもっとあれば、市民の生活も豊かになると思います。市民にも恩恵があるようなアートツーリズムや歴史、アート、音楽というような文化的な活動に繋がる観光が実現できれば、文化度が高まり目指す将来都市像にも近づけるのかなと感じました。</p>	<p>P28「主要施策3-3」に文化的コンテンツの情報発信について記載しました。</p>